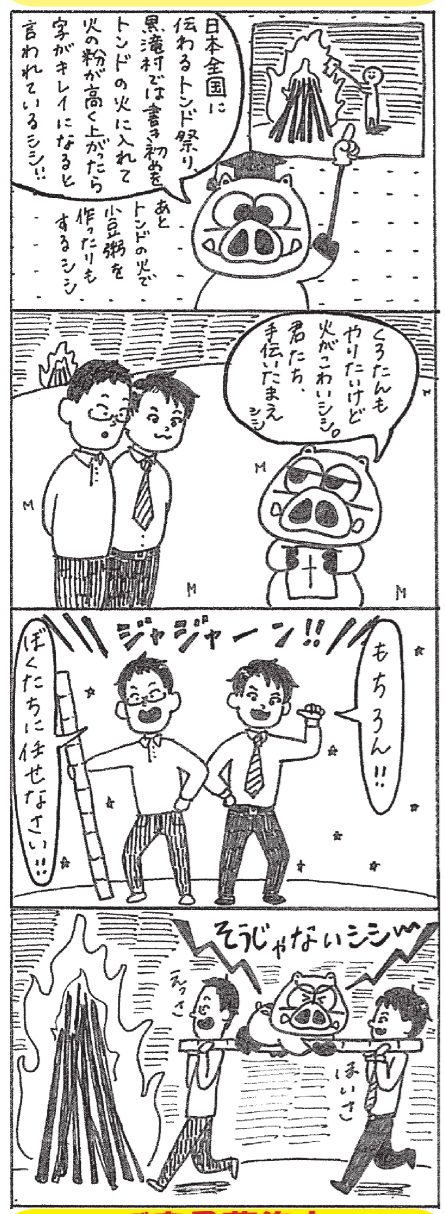
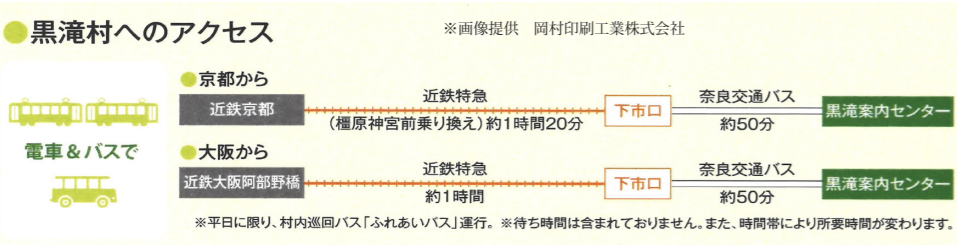


★地域おこし協力隊四コマ★
「くろたんのとんと祭り! ?の巻」



ご意見募集中
本誌では、取り上げてほしい内容や取材依頼、企画など幅広く募集しております。また、本誌の購読をご希望の方にはお送りさせていただきます。詳しくは担当（白石）まで。
お問い合わせ
kurotakimuralover@yahoo.co.jp

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞
黒滝村 LOVER vol.2
平成 29 年 3 月 1 日発行
企画 黒滝村地域おこし協力隊
制作・編集 黒滝村役場企画政策課 〒638-0292
白石隊員（観光PR担当） 奈良県吉野郡黒滝村 大字寺戸77番地
作：シライシ 画：マルモリ Tel 0747-62-2031 Fax 0747-62-2569



☆黒滝村News☆

「あったかもんグランプリ」
黒滝村が最優秀賞受賞の快挙達成！

1月末の「奈良大立山祭り」で開催されました「あったかもんグランプリ」に、奈良県39市町村がエントリーし、黒滝村女子職員会が見事最優秀賞を受賞されました！
エントリーした「あったかもん」は「特製鶏団子とわらかへそ餅の具だくさん雑煮」です。村の名産である「黒滝白きゅうり」のひね漬け入り鶏団子と、粒あん入りヨモギ餅の「へそ餅」との相性ばっちりと大ウケでした。「黒滝名産ごんにゃく」も入った地元食材たっぷりのお澄まし仕立ての一品。地域おこし協力隊の勝原隊員も女子職員会の一員として参加させていただきました！今後の黒滝村女子職員会のみなさまの活動に大注目です！！



感動に包まれた表彰式となりました。

観光防災 Wi-Fi が設置されました！

このたび黒滝村に、観光防災 Wi-Fi ステーションが整備され、無料登録によりどなたでも自由にフリーWi-Fiが使えるようになりました！！観光情報収集の利便性向上と、迅速な防災情報の提供のために、道の駅をはじめとする下記の五か所にWi-Fiアクセスポイント、カメラ、気象観測機器が設置されました。①黒滝村役場（寺戸地区）②黒滝村中央公民館（寺戸地区）③道の駅吉野路黒滝（長瀬地区）④善龍寺（赤滝地区）⑤瀧光寺（槇尾地区）
ますます進化していく黒滝村。
2017年もっともっと飛躍の年になりますように！！



◇隊員のつぶやき◇

冬の山仕事は寒さが身に堪えます。そんな時は焚き火の暖かさが、疲れをほぐしてくれます。

運転中に車が横滑りしたり、風邪で1週間寝込んだり、初めての黒滝の冬を楽しく過ごすことができます。

五年くらいぶりに和太鼓をまた叩いています。久しぶりに頑張っています。

最近はずれの日には村内でランニングしています。藤田を見かけました。気軽に声を掛けたいですね！

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞
くろ た き む ら
黒滝村 Lover Vol.2



黒滝村森林組合
スカイチーム
skyteam

ご宿泊（2食付）
税別 10000円～

TAKE FREE

森のリゾートで黒滝村を満喫！
黒滝・森物語村
森の交流館

もり
森林のむら
黒滝村の魅力全開！！





「森の交流館」

株式会社黒滝森物語村

◇経営難から再生への道◇

●「森物語村（森の交流館）」「きららの森」「道の駅」の3大施設を運用する「株式会社黒滝森物語村」は財団法人として設立されました。経営状況の悪化を理由に5年前に民間の株式会社となるも、「利益をあげることが目的ではない財団法人」から「株主の為に利益をあげなければならない株式会社」としての経営思想に切り替えることができず業績はジリ貧に。当時道の駅の駅長だった野崎さんも過去の運営方針から抜け出すことができず、当惑していました。

●転機が訪れたのは2015年10月。全国でホテルの再生などの実績をあげていた黒滝村出身の辰巳繁さんが会社再生の為に総支配人に就任し、まずは全ての出入り業者とイチから話し合い、経費の無駄を徹底的に洗い出す所から始めました。「補助金に頼らず自力で利益をあげることが絶対の目標に、その為に日々考え続けること」辰巳総支配人の経営方針のもと、大改革の第一歩を全従業員で踏み出しました。

◇「森の交流館」◇ リニューアルオープン

●次に取り組んだのは赤字経営を理由に閉鎖していた「森の交流館」のリニューアルオープンです。旅行会社との提携、季節に合わせたグルメプランなど次々と仕掛け、「利益をあげない」という財団法人時代の呪縛からすこずつ解き放たれていきました。しかし黒滝村の主産業は林業。観光資源に乏しく「黒滝村に泊まりに来て頂いてもお客様がすることがない。ないなら作ればいい」。矛盾と戦い続ける中で出した答えは「黒滝村でやりたいこと」

そのものをPRするプラン。こんにやく作り体験、アマゴつかみどり体験など村の魅力を発信しています。

◇悲願のコンビニオープン◇

●当時は村内はおろか、黒滝村の周辺数十キロに渡り山間部の大手コンビニはありませんでした。地域貢献としての需要も高いコンビニ誘致のプロジェクトは森物語村再生のための切り札でした。あらゆる大手コンビニチェーンに声をかけるも全く相手にされない中、唯一興味を持ってくれたのが「ヤマザキYショップ」（山崎製パン株式会社）でした。新規配送ルートの開拓など山積みの問題をひとつずつ解消していき、2016年6月のコンビニオープンへとこぎつけました。

●苦勞が実り2016年度決算において、会社はついに黒字見込みとなり、運用施設ごとに見ても、コストが最もかかる「森の交流館」も3月の決算では黒字計上の見通しとなりました。「一年だけ黒字になっても意味がない。二年、三年と常に継続し普段から黒字を出せるようになることが重要。」辰巳総支配人からいつもそう教えられているという野崎さん。会社再生への挑戦はまだまだはじまったばかりです。



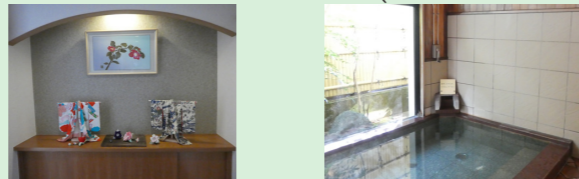
支那人代理
野崎裕太さん

1985年奈良県橿原市生まれ。大淀町で育ち、黒滝に親戚がいたことがきっかけで、23歳で不動産業の営業職から転職されました。



「森の交流館」通常ご宿泊プラン

●一泊二日（二食付）※ご利用は2名様からお一人様 10000円～（税別）



近鉄南大阪線 観光特急
シンフォニー
「青の交響曲」
開通記念特別プラン

心に響く旋律のように、あなたを上質な大人旅へ誘う「青の交響曲」。奥深い歴史、自然豊かな沿線風景を駆け抜ける濃紺のボディ。これまでにない列車の旅が始まります。



●最寄駅「下市口駅」までの無料送迎付（青の交響曲到着時刻）

◇夕食◇「国産牛のすき焼き」

料理長手作りの割り下でいただく、絶品のすき焼き！

◆朝食◆「和食朝食セット」
田舎ならではの茶粥を、黒滝村名物の白きゅうりの漬物と一緒にご賞味ください。



お食事のみのプランもあります。
森の交流館自慢の
お任せ会席
4000円～8000円（税別）

他にもたくさんのプランが用意されています。ぜひ一度お問い合わせください。

☆お問い合わせ☆

株式会社黒滝森物語村（森の交流館）
〒638-0241 奈良県吉野郡黒滝村栗飯谷1
Tel.0747-62-2770 Fax.0747-62-2772
http://www.morimonogatari.com/

skyteam

黒滝村が誇る特殊伐採専門チーム

黒滝村森林組合 skyteam 所属
岡崎裕二さん

1974年岡山生まれ。奈良市で暮らし大阪でホテルマンとして働いていた26歳の時、田舎暮らしへの気持ちが強くなり黒滝村森林組合への転職を決意し、移住されました。

◇林業初心者からの挑戦◇

●昭和27年に設立された「黒滝村森林組合」の活動は多岐にわたり、伐採や植林はもちろんのこと、草刈りや除雪作業まで担当します。岡崎さんが所属する「skyteam」は森林組合の中で結成され、全国的にも貴重な特殊伐採（樹上での伐採）専門チームです。「黒滝にも林業にも何の縁もなかった」26歳で移住してこられた岡崎さん。不安だらけの新生活も、黒滝村森林組合の先輩達がみんな親身にサポートしてくれたおかげで、すぐに村になじむことができました。そんな経験から、「新しく移住してきた後輩達にはできるだけ親身にサポートしてあげたいですね。」と語ります。

◇革新的なツリークライミング◇

●先輩組合員の梶谷哲也さんがツリークライミング技術を長野県上伊那に学びに行ったことで黒滝村に大きな改革がもたらされます。従来の伝統的な方法では、三人で三日かけていたような複雑な高所作業を、この新技術では二人でたった一日で終わらせることができるようになりました。しかも、重機が進入できず放置されていた場所での作業も可能になりました。さらに重要な点は安全性が飛躍的に向上したことです。作業員の上部の支点でロープで体を確保しているため、足場の影響を受けづら

く樹上での行動範囲も広くなりました。そして専用道具の耐用年数や強度などを数値で的確に安全管理する考え方が確立しているのです。欧米で発祥し、発達したこのツリークライミング技術の有用性や革新性を肌で感じた岡崎さんも長野県まで学びに行かれ、2010年に梶谷さんと二人一組の「skyteam」が発足しました。

●日本ではまだまだ一般的なスキルではなく全国から「skyteam」のもとに見学希望者が訪れます。この7年間で小笠原諸島の伐採や熊本県での講習会の開催など全国的に精力的な活動をしてきました。

従来作業不可だった現場での作業を担当することが増えたことで「施主さんが喜んでお礼を言ってくれる機会が格段に増えたことがとにかく嬉しいですね」と語ります。

◇伐採後の木に意識が向いた◇

●2年前に林業経験者の大型新人、吉村雄一さんが加入され現在の隊員数3名となった「skyteam」。いまの岡崎さんの目標は伐採後の木を有効活用することです。ただ伐って終わりではなく、そのあとのことまで意識が向くようになりました。「現実的な解決策はやっぱり薪にして売ることかな」と笑顔で語る岡崎さん。販路の開拓に向けて、さらなる一歩を踏み出しています。



skyteamメンバー3人目は吉村雄一さん。最近メキメキと力をつけてきたともぼらのウツサ！



地域おこし協力隊のメンバー久喜隊員（左）や勤務3年目の西浦晃一さん（右）も大活躍中です。他にもたくさんの作業員の方が森林組合に所属し多岐にわたる活動をされています。この日は村内でのskyteamとの合同作業でした。

現場写真を中心に日々の情報発信をしてくれているのも魅力のひとつ。

スカイチーム公式
Facebook ページ
「黒滝村森林組合 skyteam」
<https://www.facebook.com/kurotaki.skyteam/>



黒滝村森林組合のみなさま

屋根の上の枝葉にお困りの方、高額な見積もりで一度はあきらめたという方も、黒滝村スカイチーム skyteam にお任せ！まずは一度黒滝村森林組合にご相談ください！！

黒滝村森林組合
Tel 0747-62-2124